

かがくで、
かがやく。



日本曹達DXビジョン 2.0

「デジタルで、かがやく。」



日本曹達株式会社

2025年 10月 28日

目次

- 01 長期ビジョン「かがくで、かがやく。2030」**
- 02 DXビジョン3つの改革**
- 03 DX推進体制と人材育成・確保**
- 04 ITシステムの整備に向けた方策**
- 05 DX推進指標**

01 長期ビジョン「かがくで、かがやく。2030」

2030年のありたい姿

高付加価値事業の拡大と不採算事業の整理を加速するとともに、徹底した経営の効率化を推し進め、事業環境の変化に強く、安定した収益を生み出す事業ポートフォリオへ変革する。

日本曹達のミッション

新たな価値を化学の力で創造し、「社会への貢献」を通じ「企業価値の向上」を実現する。

長期ビジョンにおける基本戦略と主要課題

ROIを重視した成長戦略と徹底した構造改革により、『高効率な事業構造に変革してゆく。～利益効率を二倍以上に～』

高付加価値事業の拡大

- 成長ドライバー製品のさらなる拡大
- 新規事業の創出（有機EL事業、アニマルヘルス事業）
- 成長事業への投資（成長投資 300億円、研究開発費 400億）

経営基盤の強化

- 生産年齢人口減少対策（DX・人的資本投資 100億円）
- 既存事業の基盤強化（維持更新投資 300億円）
- スタートアップ投資、事業提携・M&A

資本効率の改善・株主還元

- バランスシート改革（棚卸資産の縮減、政策保有株式の整理）
- 有利子負債調達
- 株主還元（累進配当方針を導入、自己株式取得を機動的に実施）

02 DXビジョン3つの改革

DXビジョン「デジタルで、かがやく。」

高効率な事業構造への変革を目指し、デジタル技術を活用してDXを実現する。

スマートファクトリー／生産改革

生産性向上、品質安定化、予防保全の強化

デジタルツインの実現に向けた環境整備

- 既存業務のデジタイゼーション
- DXマインドの醸成

スマートラボ／研究改革

研究開発の高度化による競争力の強化

スマートリサーチプラットフォームの構築・活用促進

- AI・データ駆動型研究開発による圧倒的なパフォーマンスの向上
- 革新的な次世代実験室への進化

スマートオフィス／業務改革

データの整備と活用による経営の高度化

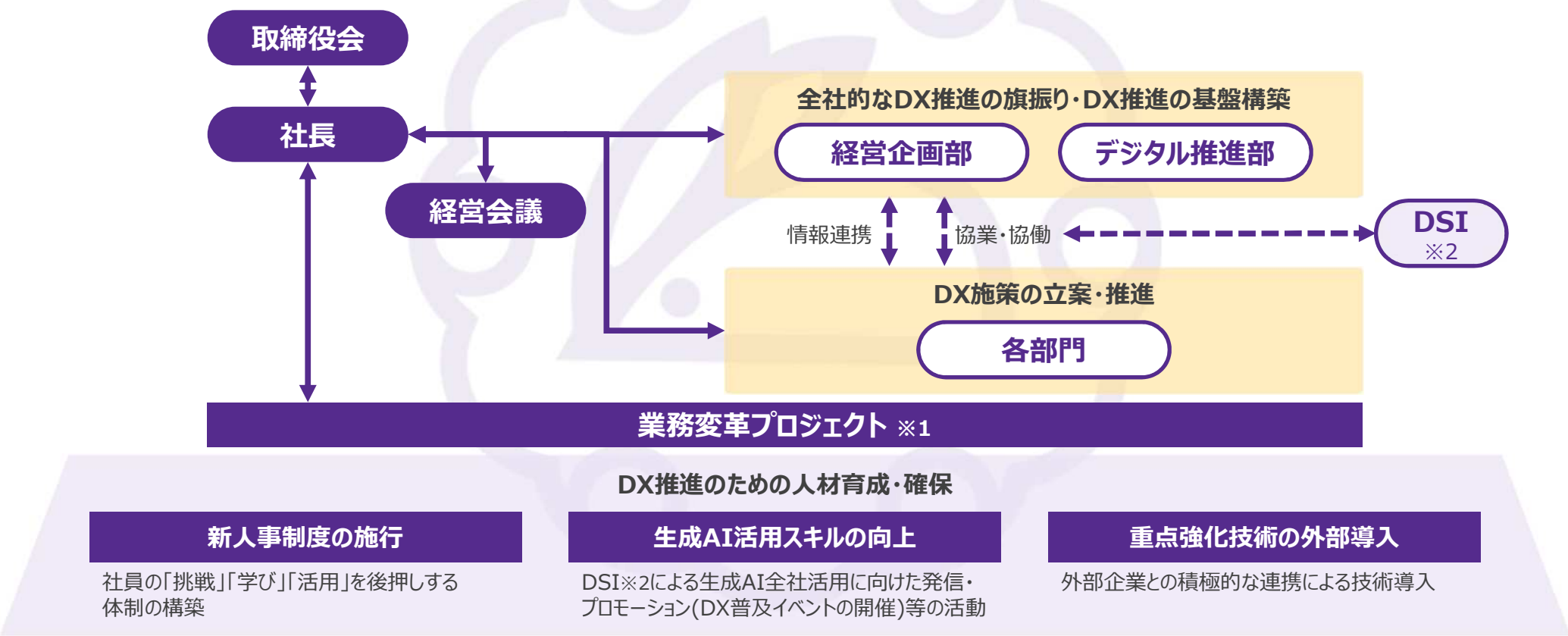
DX推進の基盤構築

- ERPパッケージ刷新を含むデジタル情報基盤の構築と業務標準化
- 情報セキュリティの強化推進

03 DX推進体制と人材育成・確保

DXを推進するための組織および体制

経営トップ・経営層が主導し、経営企画部・デジタル推進部が全社のDX施策を俯瞰して戦略を立案する。
各部門は従来の業務慣習にとらわれず、「例外」や「聖域」を設けず、社内全域で企画・推進する体制とする。



※1 部門横断で体制を構築し、ERPパッケージ刷新を軸に業務変革を推進する全社的なプロジェクト
 ※2 **D**ata **S**cience **I**nitiative…若手研究者が主導するデータサイエンス活用ワーキンググループ

04 ITシステムの整備に向けた方策

ITシステム・デジタル技術活用環境の整備に向けた方策

DXを推進するため、AI活用を前提としたデジタル技術の活用環境を統合的に整備する。

ITシステム・デジタル技術の活用

業務の標準化・統合

AIの高度化を支える
データ整備

スマートファクトリー

運転管理ソリューションの導入
工場全域でのモバイル活用

スマートラボ

次世代研究DBの稼働および
ELN※と連携したデータ活用
実験プロセスの
デジタル化・24時間化推進

スマートオフィス

ERPパッケージの稼働
データ活用基盤の構築・運用

DXを推進する人材の創出 全社員のDXリテラシー底上げ サイバーセキュリティ対策の強化

※ Electronic Lab Notebook(電子実験ノート)

05 DX推進指標

DXを推進するための指標

DX推進指標の達成を通じ、将来のありたい姿を実現する。

長期経営計画における
DX・人的資本投資額
(2025-2029年度)

100億円

DX推進人材の創出

生成AI
アクティブユーザー率

2029年度までに

100%

経営状況の可視化・
業務効率の向上と変革の加速

ERPパッケージ
稼働

2027年度

研究データの活用

次世代研究
DBシステム稼働

2027年度

次世代研究
DB・ELNデータ
活用開始

2029年度

かがくて、
かがやく。
「デジタルで、かがやく。」



 日本曹達株式会社